

日野市 雨天時浸入水対策計画

日野市下水道課

策定 令和8年3月

1. 雨天時浸入水対策の基本方針

1.1. 基本方針

日野市は、浅川処理区、秋川処理区関連において、令和元年10月の台風19号の時間雨量47.5mm、日雨量341.0mmの降雨により、雨天時浸入水に起因する事象1（処理場外にある污水管のマンホール等からの溢水や宅内への逆流）が発生し、また、令和6年9月の時間雨量37.5mm、日雨量159.0mmの降雨においても同様の事象が発生した。

これを受け、日野市では、計画期間である20年で、計画降雨（5年確率）以下の降雨において、雨天時浸入水に起因する事象の発生を防止することを目的に、雨天時浸入水対策計画を策定した。

また、事象については、発生原因が污水下水道本管の老朽化、旧式のマンホール蓋の穴及び水密性の不足、民地内の排水設備の老朽化に伴う水密性不足、民地屋根の雨どいからの誤接続が原因であることが判明してきたため、当面の期間（5年間）においてこれらの施設について、民地所有者に改善を指導するとともに、ストックマネジメント計画との連携を図るなど、事象が発生した同規模の降雨において、再度、発生を防止することを当面の目標とした。

なお、各処理区の概要は以下のとおりである。

1. 処理区名：浅川処理区

- ・事業着手年度：昭和59年
- ・処理面積：（全体計画）1,765ha、（事業計画）1,765ha

2. 処理区名：秋川処理区

- ・事業着手年度：昭和60年
- ・処理面積：（全体計画）400ha、（事業計画）400ha

3. 処理区名：南多摩処理区

- ・事業着手年度：昭和57年
- ・処理面積：（全体計画）232ha、（事業計画）232ha

1.2. 実施概要

① 対象処理区における現在の雨天時浸入水量及び雨天時計画汚水量の概要

浅川処理区及び秋川処理区における雨天時計画汚水量等の算定については、令和5年度から実施している雨天時浸入水調査結果から算定した。浸入を最少限度とする措置が講ぜられた場合の浸入率（以下、「目標浸入率」という）は、流域下水道への接続点で計測している流量データを基に浅川処理区(右岸処理分区)、秋川処理区について現状浸入率および最大汚水量等を検討した。

○（計画降雨）時間雨量 50mm、日雨量 294mm

○（現状浸入率）

・浅川処理区(右岸処理分区)：日最大浸入率 2.02%、時間最大浸入率 0.60%

・秋川処理区（日野第一旭が丘処理分区）：日最大浸入率 10.16%、時間最大浸入率 7.51%

・秋川処理区（日野第二日野台処理分区）：日最大浸入率 0.11%、時間最大浸入率 0.21%

○（目標浸入率）日最大浸入率 0.30%、時間最大浸入率 0.10%

○（現計画水量）

浅川処理区(右岸処理分区)：

計画1日最大汚水量 21,010m³/日、計画時間最大汚水量 30,630m³/日

秋川処理区（日野第一旭が丘処理分区）：

計画1日最大汚水量 17,160m³/日、計画時間最大汚水量 27,720m³/日

秋川処理区（日野第二日野台処理分区）：

計画1日最大汚水量 4,740m³/日、計画時間最大汚水量 7,380m³/日

○（変更計画水量）

浅川処理区(右岸処理分区)：

計画1日最大汚水量 24,600m³/日、計画時間最大汚水量 40,030m³/日

秋川処理区（日野第一旭が丘処理分区）：

計画1日最大汚水量 18,560m³/日、計画時間最大汚水量 29,400m³/日

秋川処理区（日野第二日野台処理分区）：

計画1日最大汚水量 5,160m³/日、計画時間最大汚水量 8,490m³/日

② 運転管理を踏まえた施設対策の概要

対象施設なし

2. 発生源対策

2.1 スクリーニング調査・詳細調査

過年度に実施した、流量・水位観測機器等によるブロック単位（20～30ha程度）のスクリーニング調査を実施した結果、処理区内における雨天時浸入水量が多いブロックを概ね把握した。その結果を基に、流量・水位観測機器等による更なる絞り込み（2～5ha程度）を実施し、優先的に発生源対策を取り組むべき地区を定める。

特に雨天時浸入水が多い地区については、必要に応じて暗視カメラ調査や水位計、送煙調査による雨樋誤接続調査などの詳細調査を実施し、浸入原因に応じた適切な発生源対策を検討する。

2.2 ストックマネジメント

マンホール蓋（蓋穴のある）については計画的に取り替えを実施している。また、ストックマネジメント計画において、老朽化対策の優先度が高い管きょやマンホール蓋等を対象に点検・調査を進めている状況である。

雨天時浸入水が多い民間開発団地等において、水位調査によるスクリーニング調査で雨天時浸入水が多いと判定されたブロックに対して、送煙調査や誤接続調査を実施し発生源対策に取り組んでいる。

今後は下水道ストックマネジメント計画と関連付けて該当路線の点検・調査や修繕・改築を実施するほか、必要に応じて点検・調査計画や修繕・改築計画の優先順位を雨天時浸入水による影響も考慮して見直す等、日野市下水道ストックマネジメント計画への反映も検討する。

2.3 雨水整備

本市の雨水整備は、令和6年度末時点で計画降雨（5年確率）に対して事業計画面積の約9割が完了している。令和元年の台風第19号の浸水被害をうけて、日野市雨水管理総合計画を令和7年度に策定し、再度災害防止の観点から緊急的・重点的に浸水対策を実施する地区を定め、対象地区において既往最大降雨での床上浸水解消を目標として取り組んでいる。

浅川処理区の雨水整備は、事業計画面積の約9割が完了しているが、特に浸水リスクが高い地区については、日野市雨水管理総合計画を基に、雨水管の整備を進めるとともに、貯留槽の設置や他部署との連携を図りながら総合治水を推進し、対策効果の早期発現を図る。

2.4 排水設備

本市の排水設備の指導及び検査は書類検査等適切に実施しているが、供用開始年が古い民間開発地区の一部の住居について、排水設備への雨水の誤接続や排水設備の老朽化に伴う損壊が確認されていることから、これらについては、詳細調査を実施したうえで改善等の指導を行う。また、排水設備の検査の点検項目や書類確認により雨水が污水管に接続されていないことを確実に確認する。

また、流出抑制対策として、従来からの雨水浸透施設の設置を継続的に維持、促進し、雨天時浸入水が比較的多い地区に対しては、PRを重点的に実施するなど設置の促進を図る。

3. 運転管理

該当施設なし

4. 発生源対策

4.1 管路施設

管路施設について雨天時計画時間最大汚水量による能力確認を実施した結果、能力不足と判定された箇所はなかった。

4.2 ポンプ施設

該当施設なし

4.2 処理施設

該当施設なし

5. その他

また、モニタリングは、雨天時浸入水に起因する事象が発生した場合に発生状況を詳細に記録するとともに、関係者への情報提供を行う。この際、消毒等の応急対策を行う。

なお、本計画についての実行状況の把握のため、令和12年（本計画策定から5年後）には中間評価として雨天時浸入水対策計画の見直しを行う予定である。